

令和7年度潮来市市政報告会 当日の質疑応答内容の掲載について

令和7年6月26日（木）・7月1日（火）にそれぞれ牛堀公民館・中央公民館で開催した令和7年度潮来市市政報告会で当日質疑応答があった内容について掲載いたします。

※質問内容及び回答内容は、当日発言された内容を一部割愛、要約して掲載しています。

※市政報告会当日、未回答であった質問に対する回答や回答した内容で補足を加えたものについては青字で追記しております。

1. 市政報告の内容に関する質疑応答

番号	質問	回答
1	・地域連携拠点整備基本構想についてどの程度の期間で考えているか。 ・地権者の人数はどれくらいか。 ・地権者に対し説明会を実施したと思うが反応はどうであったか。	・事業者等の参入など事業化が決定されれば5～6年程度で実現できると考えている。 ・概算ではあるが、約60ヘクタールの土地に150人程度の地権者が居る。 ・地権者に対する説明会を昨年7月に、地権者及び耕作者を対象にした説明会を昨年10月に実施した。 ・説明会では、地域連携拠点整備基本構想について否定的な意見はなく、むしろ肯定的な期待を寄せていただけるような意見が多かった。
2	・潮来IC周辺で物流事業者の誘致をしていると思うが、説明会に参加した事業者から、交渉の途中で個別に対応していただいていた不動産業者や潮来市から連絡が来なくなってしまったとの話を聞いた。そのような状況で誘致活動に実効性があるのか、潮来市の本気度を伺いたい。	・企業誘致活動は一生懸命、前向きに取り組んでいく。企業の規模に関わらず、伴走型でしっかりと企業誘致は行っていきたい。

3	・学校を統合すると子どもたちの負担が大きくなると考える。また、統合によって、子どもたちは教師に関わってもらい辛く、教師にとっては指導する生徒の数が増加し指導困難な学校になってしまうと考える。令和4年度に茨城県は不登校発生率全国一位になってしまったが、この原因には過剰な学校統合にあるのではないかと考えている。この問題を多くの方に認識されていないことを危惧している。この問題に対して市長はどのように考えているのか伺いたい。	・学校の適正化については、有識者や地域住民、PTA 等も参加した会議の中で長期間にわたり協議してきた結論である。 ・小規模のクラスの方がきめ細やかな教育ができるのというご指摘は理解できる部分もあるが、子ども達の競争力などを養えないという危惧もある。 ・多様な意見を聞くというのは重要なことだと考えるが、統合の方針については決定しており、すでに統合に向けて準備をしているため、今から大幅に修正することは考えていない。粛々と統合を進めて、子ども達の環境をより良いものにしていくことを目指していきたい。
4	・弁天山周辺でもイノシンが頻繁に出現するようになってしまいどうしたらいいか相談したい。	・電気柵などの対策がとれる場所であれば、要望があった箇所から進めていきたいと考えている。 ・要件を満たせば電気柵等の購入費用の一部を助成する補助金を制定している。詳しくは農政課へお問合せいただきたい。
5	・地域連携拠点整備基本構想の質疑応答の中で、民間の方からの申込があれば5、6年で整備できるとのことだが、道の駅いたこは先行して事業を行う予定はないのか伺いたい。	・現在のところ、道の駅いたこが先行して事業を実施する予定はない。
6	・今年度の予算は緊縮財政とのことであるが、全体的に予算を減らすのではなく、市が本当に行いたい事業は何なのか考え、メリハリをもって予算編成していただきたい。	・市としては十分メリハリをつけて予算措置している認識。例えば前川サッカー場の増設は大会の誘致による交流人口の増加など政策の一環として実施している。この前川サッカー場を整備したことで道の駅いたこの売上も5%くらい増えている。人が集まる場を作れば相乗効果が生まれ周辺施設に付随した効果が生まれる。バスターミナルの整備も費用はかかったが、駐

		車場の利用者が増え、潮来市に年間四千数百万円ほど収益が生まれている。このように投資することで将来回収が見込めるところに優先的に予算措置している。投資することで収益も見込めるし、将来の世代にとって財産になるような箇所についてはしっかりと予算措置していく。
7	・今年度の敬老会事業はすべて廃止と伺っている。これまで続けてきた敬老事業を大きく変更するというのであれば、高齢者の方々を含めた意見をもっと聞くべきだったのではないか。区長会で検討しているとのことだが、しっかりと検討していただき、方向性を示していただきたい。	・敬老事業について、区長さん方には担当課から一年かけて話をしたと聞いている。 区長会でも様々な意見があり、積極的に敬老事業を行いたい地区と、区長の負担増加を懸念して縮小に賛成の地区もある。また、実施方法についても、人を集めると不公平が生じてしまうとの危惧も意見としてあった。一部の地区で実施すると実施しなかった地区で不満が出てしまうという問題もある。そういった多様な意見があった中で、最終的に市が記念品を配布することでまとまった。 再度、区長会で話し合っていて、敬老事業の実施方法を変更するというのであれば、来年度からそのように実施してもらえればいいと考える。最終的に高齢者に喜んでいただければ意味がないと思うので、区長さん方にもよく理解していただいた上で、新たな制度をスタートさせたいと考えている。

2. 事前質問への回答に対する質疑応答

番号	質問	回答
1	・側溝の蓋掛けについて質問したが、私が質問した内容とホームページに掲載してある内容が異なっていた。改ざんではないか。私は「蓋をして欲しい」とは一言も言っていない。私の主張は「開口部には柵をせよ。安全管理の基本です。安心安全の潮来市を築くための市長の取り組みをお伺いいたします。」である。内容を割愛するのであれば本人に一言断ってからにして欲しかった。 ・開口部の蓋掛けについては市長がやるべき最優先課題だと考えている。議会でも蓋掛けの予算ゼロに賛成した議員が多数いた。どのような気持ちで賛成したのか伺いたい。先ほど市長の説明の中で当初予算はゼロでも蓋掛けは実施するとの話があったが、必要な事業なので最初から予算に組み込むべきだと考える。 ・市債残高が今年度は6億円ほど減額できるとのグラフを拝見したが、6億円の10%の予算があれば蓋掛け・道路の除草・スクールバスの無償化など多くの安全施策が実施できると考える。この辺を含めて市長は安心安全についてどのように考えているのか伺いたい。 ・市長自らよく実態を見ていただきたい。日の出2丁目の北側約	・質問内容について、原文のまま掲載しなかったことについてお詫び申し上げる。市政報告会の資料は多くの市民の方には示すものであるため一般的な表現に一部修正させていただいた。質問内容を変えようとしたものではないが表現を変更してしまった点については改めてお詫び申し上げます。 ・危険なもの、市民が不安に思っているものについては、財政状況に関わらず優先的に実施するものだと認識している。 ・議会の皆様も今年度予算に賛成したからといって、市民の安心安全を軽視している訳ではなく、しっかりと考えた上で結論を出していただいているとの認識である。 ・また、修繕の予算は別枠で設けており、200万円の予算が削減されたからと言って一切蓋掛けをやらないという訳ではない。スピードは落ちるかもしれないが、危険な箇所があればしっかりと蓋掛け等を実施していきたい。 ・今回の予算編成では、蓋掛けに限らず、人件費や道路工事費なども削減し、全体のバランスを見て予算編成を行った。しかし、ご指摘のように危険な箇所の蓋掛けなどは優先順位をつけてしっかりと実施していきたい。 ・しっかりと確認させていただいて、ご要望を承らせていただ

	2 km は蓋が掛かっている。蓋が掛かっているところはゴミが落ち、草木が生えてしまっている。また深い側溝は優先して蓋掛けするべきだと思うが蓋掛けされていない。 ・ 200 万円程度でできる話ではない。実態を市長自らよく確認してほしい。	く。
2	・ ふるさと納税の寄附額が境町では 100 億円集まっていると聞いている。返礼品の費用や手数料を差し引いても 10 億円くらいは町に残ると思われる。境町に比べて、潮来市はふるさと納税のやる気がないと感じられる。	・ 境町は自前で加工するための工場を建設し、低コストで高級なものを安価に提供するなどの手法を用いて寄附を集めていると伺っている。 ・ 潮来市で同様にやろうとすれば加工場の造成などが必要である。そのような点も踏まえて検討が必要である。 ・ ただ現実的には鹿行地区で一番寄附額が少ないというのが事実であるため、寄附額が増加するよう全力投球していきたい。 ・ 昨年度から担当部署に民間の方が加わっている。いろいろと工夫しながら対応していきたい。
3	・ 市民に優しい事業所づくりということで質問させていただいた。回答していただき感謝申し上げます。また、商工会との連携という踏み込んだ内容にまで言及していただき感謝している。 ・ 今日集まった方々が潮来市を良くするためにどうすればいいかを考えて行動されていると考える。ただ相互の理解が不足すると尖った言葉遣いになったりすると思うので、その点には注意しながら潮来市のためになるよう協力していきたい。	ご意見いただきありがとうございます。